

第2次四街道市環境基本計画
平成29年度年次報告書

平成30年10月

四街道市環境経済部環境政策課

はじめに

本市は、平成 10 年に「自然と共生する 環境にやさしいまち」を基本理念とする「四街道市環境基本計画」を策定し、市民、事業者及び市が一体となって連携・協働することにより環境の保全及び創造に取り組んできました。

しかし、環境基本計画策定から 15 年が経過し、市街化の進展や、高齢化や後継者不足による農業従事者の減少等により四街道市の特長である谷津田^{*1}や里山^{*2}の荒廃など自然環境の悪化が進んでいます。一方、生活環境でも下水道の整備により河川水質は改善しているものの、羽田空港の 24 時間操業に伴う航空機騒音の発生やごみの最終処分場を持たないことから更なるごみの排出抑制が必要となるなど、新たな課題が浮かび上がってきています。

また、我が国における環境問題は、自動車の排出ガスによる大気汚染や、家庭から流される生活排水による水質汚濁などのいわゆる「都市・生活型」から、資源の循環利用や地球温暖化による気候変動など「地球規模型」へと焦点が移りつつあります。さらに、近年、頻発する集中豪雨による災害や、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災以降、市民の間に「安全・安心」に関する意識が高まるなど、本市を取り巻く環境は確実に変化しています。

こうした社会経済情勢等の変化をとらえ、新たな環境課題に的確に対応し、地球にやさしい安全・安心なまちづくりを進めるための指針として、「四街道市環境基本計画」を改定し、平成 26 年度から平成 35 年度までの 10 年間を計画期間とする「第 2 次四街道市環境基本計画」（以下、「本計画」という。）を策定しました。

計画の改定にあたっては、国が目指す低炭素、循環型、自然共生の 3 つの社会の実現を柱とし、それぞれの社会を実現するために安全・安心な生活環境の下、市民参加型社会・地域協働社会の実現を目指すという構図を基本とし、「施策の体系」について継続的な見直し及び組み直しを行いました。

この報告書は、本計画における平成 29 年度の市の取組について点検・評価を実施し、その結果を年次報告として取りまとめたものです。

^{*1} 谷津田：台地などの縁辺部の樹枝状に侵食された幅の狭い谷に出来た湿地（谷津）の低地を利用した水田のことを指します。

^{*2} 里山：さまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた、集落を取り巻く二次林と人工林、農地、ため池、草原などで構成される地域の概念を指します。

目次

第1章 計画の点検・評価について	
1 施策の基本方針	2
2 点検・評価の対象	2
3 点検・評価の方法	2
第2章 計画の進捗状況について	
第1節 健やかに安心して暮らせるまち	
1 生活環境の保全対策	11
2 美しく快適なまちづくりの推進	12
3 暮らしやすさの向上	14
第2節 循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち	
1 3Rの推進	16
2 ごみの適正処理の推進	18
第3節 次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち	
1 省エネルギーの推進	19
2 温室効果ガス排出量の削減	20
第4節 思いやりの心が育まれる自然豊かなまち	
1 自然とのふれあいの推進	22
2 生物多様性の保全	23
第5節 みんなで環境づくりに取り組むまち	
1 環境情報の提供	25
2 環境保全活動の推進	26
3 環境教育・環境学習の推進	27
第3章 進捗状況の評価について	
1 指標の進捗状況の評価	30
2 まとめ	45
資料	47

第1章

計画の点検・評価について

1 施策の基本方針

本計画では、望ましい環境像である「みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち」を達成するために、5つの分野の長期目標及び施策の基本方針を定め、市の特色を活かした各種の施策^{*1}を展開しています。

●計画の体系●

望ましい環境像	長期目標	施策の基本方針
みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち	(安全安心・生活環境分野) 1.健やかに安心して暮らせるまち	①生活環境の保全対策 ②美しく快適なまちづくりの推進 ③暮らしやすさの向上
	(循環型社会分野) 2.循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち	①3R ^{*2} の推進 ②ごみの適正処理の推進
	(低炭素社会分野) 3.次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち	①省エネルギーの推進 ②温室効果ガス排出量の削減
	(自然分野) 4.思いやりの心が育まれる自然豊かなまち	①自然とのふれあいの推進 ②生物多様性の保全
	(環境教育・行動分野) 5.みんなで環境づくりに取り組むまち	①環境情報の提供 ②環境保全活動の推進 ③環境教育・環境学習の推進

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本計画第4章で示した具体的施策及び第5章で示した主な施策の指標及び数値目標としました。

3 点検・評価の方法

施策の実施状況について点検を行い、具体的施策毎に「○：実施」、「△：一部実施」、「×：未実施」の3段階で評価しました。また、評価指標を定めた項目は、目標値と比較して、達成又は未達成を評価しました。

^{*1} 施策の内容については、本書の3ページから9ページに掲載しています。

^{*2} 3R とは、Reduce(ごみを出さない)、Reuse(ごみを再利用する)、Recycle(再資源化)の頭文字をとったものです。

「本計画における施策の基本方針ごとの具体的施策及びその内容」

長期目標1. (安全安心・生活環境分野)

健やかに安心して暮らせるまち

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
①生活環境の保全 対策	大気汚染の防止	大気汚染状況の監視の継続
		野焼き監視パトロールの実施
	水質汚濁の防止	県や周辺自治体と連携した水質汚濁の監視・測定体制の拡充
		工場・事業所に対し汚濁物質削減への協力要請
		公共下水道への接続の促進及び啓発
	航空機騒音への対応	高度処理型合併処理浄化槽の設置補助の推進と維持管理の促進
	自動車利用の抑制	羽田空港再拡張事業に伴う航空機騒音について、千葉県、関係自治体と連携した国へ対する騒音軽減に向けた対策の要望
身近な生活環境問題への対策	マイカーの利用抑制の呼びかけの実施	
	騒音、振動、悪臭、野焼き等の身近な生活環境の保全対策の推進 不法ヤード対策を強化するため、千葉県、警察など関係機関との連絡体制や地域と連携した監視体制の整備	
②美しく快適なまちづくりの推進	公園・緑地の整備	都市公園の確保・整備の継続
		社寺林・屋敷林の保全
	公共施設や住居、工場・事業所等の緑化促進	公共施設の緑化（グリーンカーテンなど）の推進
		生垣設置補助金の継続推進
		自治会等の団体との協働による公園の維持・管理の推進
	街路樹の整備	街路樹の維持・管理の推進
四街道駅前大日線の松並木通り等の維持管理		

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
(前頁続き)	保存樹木、保存樹林指定制度の活用	古木や巨木等を保存樹木に指定し、樹木等の保存管理への補助の実施
	親水性と田園環境に配慮した水辺空間の創出	河川、水路等の整備に伴う生態系に配慮した市民に親しまれる良好な水辺空間の創出
	違法駐輪対策の推進	違法駐輪の発生防止についての市民への啓発
		放置自転車の撤去の推進
良好な住宅・住環境の整備	違反建築物に対するパトロールの強化、市営住宅の改修工事の促進	
	増加傾向にある空き家の実態調査の実施及び空き家の効果的な対策の検討	
③暮らしやすさの向上	道路網の整備と安全対策の推進	一般市道（生活道路）の整備・充実
		都市計画道路等の整備
		道路の不法占用、沿道樹木の張り出しによる交通障害物対策の実施
		交通環境を向上させるため、歩道のバリアフリー化や交通安全施設の整備の推進
	排水対策の推進	道路冠水や住宅浸水を改善するための雨水管、雨水貯留施設、道路側溝の新設と改修工事の実施

長期目標 2. (循環型社会分野)

循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
① 3Rの推進	不用品の交換情報の提供	市役所での掲示や市政だよりによる不用品の交換情報の提供
	エコショップの認定	「エコショップよつかいどう」認定事業の継続・推進
	資源物回収活動の推進	雑紙、植栽剪定枝、廃食油、小型電子機器のリサイクルの推進

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
(前頁続き)	(前頁続き)	自治会や子ども会など資源物回収団体への支援
		家具類等を引き取り、補修、販売を行うリユースの拠点施設整備の検討
	リサイクル処理の最適化とごみの分別と収集の検討	リサイクル処理の最適化の検討
		新たな分別方法による収集の検討
	ごみの出し方やリサイクルに関するルールの徹底	市政だより掲載の「クルちゃんのごミの話」による啓発の継続
		自治会との協働によるごみの出し方のルール遵守の徹底
講習会や出前講座によるリサイクルに関する市民への啓発		
ごみに関する意識の高揚	3Rの推進を目的とした資源物集団回収の実施を通じた市民意識の向上促進	
②ごみの適正処理の推進	焼却ごみ量の削減	古紙類（新聞、雑紙、ダンボール、雑誌、紙パック）・繊維類の分別収集の徹底等、市民への可燃ごみ削減方法の啓発
		紙類の分別を促進するなど事業系ごみの減量化の推進
	ごみ処理施設の維持管理	クリーンセンターの定期的な点検・整備及び老朽化した設備の修繕等の実施
	不法投棄の防止と不法投棄された廃棄物の適切な処理	不法投棄防止看板の設置と広報の継続
		環境保全指導員や不法投棄等監視員による市内パトロールの実施
		不法投棄された廃棄物の速やかな撤去の実施
		一般ごみの集積所での不法投棄廃棄物へのラベルによる警告の実施

長期目標 3. (低炭素社会分野)

次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
①省エネルギーの推進	省エネルギー建築の推進	断熱材使用やLED等の省エネルギー設備を導入した省エネルギー型建築の普及促進
	省エネルギー設備の導入促進	公共施設への太陽光発電の導入の推進
		住宅用省エネルギー設備設置費補助金等の継続
		小規模雨水利用設備設置費等補助金の継続
	省エネルギー行動の普及	節電行動の普及啓発
公共施設における省エネルギー行動の実施		
②温室効果ガス排出量の削減	環境家計簿の普及	環境家計簿による省エネ行動の普及
	身近な再生可能エネルギー資源の有効利用	太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入可能性の検討
		学校給食等から回収した廃食油を利用したバイオ燃料の精製の検討
	上手な自動車利用の促進	マイカーの利用抑制の呼びかけ
		市の公用車購入要領に基づく低燃費車等のエコカー導入
公共交通の利用促進と充実	バス、鉄道等公共交通の利用促進に向けた情報提供の充実	
	関係機関との協議による市内バス路線の再編成等利便性向上への取組の推進	

長期目標4. (自然分野)

思いやりの心が育まれる自然豊かなまち

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
①自然とのふれあいの推進	自然とふれあう機会の充実	「花と緑の基金」をはじめとする緑化推進体制の強化による一般家庭や公園等の身近なみどりの整備の推進
		NPO等との連携による里山、谷津田、社寺林、屋敷林、公園など市内の自然を利用した自然観察会等市民が自然にふれあえる機会づくりの推進
	環境観察モデル地区の活用	観察モデル地区を指定し、緑地や里山、湧水等の市民の学習の場としての活用
	農林業とのふれあいの促進	市民農園の利用促進
市民農林業大学を通じて農林業とのふれあいの場の提供		
②生物多様性の保全	森林・里山・農地の保全	市内に残る森林、里山、農地所有者との調整や支援の検討
		水源の保全、不法投棄や耕作放棄地への有効な対策の検討
		市民との協働による栗山地区での里山の保全、自然景観の保持、自然と触れ合う憩いの場の創出などの総合的・一体的整備の実施
		土砂等の埋立て等による土壌汚染を防止するための監視パトロールの実施
	水とみどりのネットワーク化	森林、谷津田、里山、水辺と公園、街路樹等をつなぐ水とみどりのネットワークの構築
	自然環境調査の実施	市全域の動植物を対象とした自然環境調査の実施
	森林・農地所有者への支援	農業振興地域整備計画に基づく総合的な農業の振興
耕作放棄地の再生利用の推進		

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
(前頁続き)	(前頁続き)	環境にやさしい農業経営者（エコファーマー）への支援
		認定農業者の育成支援の促進
		ファーマーズマーケットや朝市の開催、市内で採れた地場産の食材を利用した学校給食やレストラン等多様な販売先の開拓による地産地消の促進
	四街道市森林整備計画に基づく、森林所有者による下草刈りなど森林整備への支援の実施	
	外来生物対策	外来生物に対する情報提供

長期目標5. (環境教育・行動分野)

みんなで環境づくりに取り組むまち

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
①環境情報の提供	環境情報の定期的発信	環境白書や市政だより等による最新の環境情報や環境基本計画に基づく施策の実施状況についての情報公開
	多様なツールによる情報発信	市政だよりやホームページによる環境情報発信の充実
		ソーシャルネットワーキングサービス等を利用した新たな情報発信ツールの活用
②環境保全活動の推進	市民やNPOの自発的な活動のサポート	環境保全活動への市民参加機会の充実を図るための「市民提案手続き」の利用促進
		「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」による市民自らが企画し実施する環境保全活動の支援

施策の基本方針	具体的施策	施策の内容
(前頁続き)	広域的連携の推進	印旛沼流域環境・体験フェアや手繰川河川清掃活動など周辺自治体や千葉県及び市民と協働した環境保全活動の実施
	美しいまちづくりの推進	環境美化運動や地域清掃活動、ポイ捨て防止及びごみゼロ運動の推進
	交流の場としての機能の充実	公民館等公共施設を活用した市民の活動の場の提供
	交流のための組織の充実	市民・市民団体、事業者、市の交流のための組織の拡充と協働の促進
③環境教育・環境学習の推進	環境教育・環境学習プログラムづくり	市民団体やNPO等と連携した環境教育・学習体制の確立
		環境家計簿を利用した省エネルギーに関する教育・学習の実施
		学校教育や生涯学習などに活用できる環境学習プログラムの作成
		「学校支援地域本部事業」の中で学校支援コーディネーターや地域コーディネーターの配置による環境教育の充実や市内小中学校を開放した社会教育の場の提供
	地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	学校との連携による地域文化の保存活動の推進
	学校における郷土学習の推進（副読本「わたしたちの四街道」を利用した学習、歴史民俗資料室を利用した学習等）や市民向け講座での郷土資料の普及	

第2章

計画の進捗状況について

第1節 健やかに安心して暮らせるまち

本市は生活環境が比較的良好な都市といえますが、野焼きと羽田空港の再拡張に伴う航空機騒音に関する苦情の割合が多い傾向にあることに加え、光化学オキシダントの環境基準が達成されていないことなどから生活環境について改善する余地が残されています。

また、安心して暮らすには、憩いとうるおいを感じることでできる緑地の整備や、道路施設のバリアフリー化の推進などが重要です。

そこで、施策の基本方針に基づき、私たちが暮らしていくうえで欠かせない生活環境の保全と、総合的な都市整備に取り組み、生活環境の保全と快適環境の向上の推進に向けた『健やかに安心して暮らせるまち』を目指します。

【1 - ① 生活環境の保全対策】

具体的施策	a. 大気汚染の防止
施策の内容	・ 大気汚染状況の監視の継続 ・ 野焼き監視パトロールの実施
担当部署	環境政策課
進捗状況	・ ダイオキシン類濃度測定調査を実施した ・ 光化学スモッグ、PM2.5に係る監視を実施した ・ 環境保全指導員（警察官OB2名）による野焼き等の監視、指導を実施した
評価	○

具体的施策	b. 水質汚濁の防止
施策の内容	・ 県や周辺自治体と連携した水質汚濁の監視・測定体制の拡充 ・ 工場・事業所に対し汚濁物質削減への協力要請 ・ 公共下水道への接続の促進及び啓発 ・ 高度処理型合併処理浄化槽の設置補助の推進と維持管理の促進
担当部署	環境政策課（下水道課） ^{*1}
進捗状況	・ 県の調査日程と調整して河川水質調査を実施した ・ 水洗便所改造資金助成により、公共下水道への接続を促進した ・ 接続促進の啓発を実施した ・ 高度処理型合併処理浄化槽設置補助金を交付した（4件）
評価	△

^{*1} 担当部署欄のカッコ内の部署は、関連部署を意味します（以降も同様です）。

具体的施策	c. 航空機騒音への対応
施策の内容	・羽田空港再拡張事業に伴う航空機騒音について、千葉県、関係自治体と連携した国へ対する騒音軽減に向けた対策の要望
担当部署	環境政策課
進捗状況	・県や関係自治体によって構成される連絡協議会へ参加し、騒音対策の要望を行った
評価	○

具体的施策	d. 自動車利用の抑制
施策の内容	・マイカーの利用抑制の呼びかけの実施
担当部署	環境政策課
進捗状況	・職員向けの啓発掲示を実施した
評価	○

具体的施策	e. 身近な生活環境問題への対策
施策の内容	・騒音、振動、悪臭、野焼き等の身近な生活環境の保全対策の推進 ・不法ヤード対策を強化するため、千葉県、警察など関係機関との連絡体制や地域と連携した監視体制の整備
担当部署	環境政策課
進捗状況	・騒音、振動、悪臭、野焼き等の苦情対応を実施した ・県、警察、消防と協力し、合同でヤードパトロールを実施した
評価	○

【1 - ② 美しく快適なまちづくりの推進】

具体的施策	a. 公園・緑地の整備
施策の内容	・都市公園の確保・整備の継続 ・社寺林・屋敷林の保全
担当部署	都市計画課、産業振興課
進捗状況	・街区公園4か所、緑地9か所を供用開始した
評価	△

具体的施策	b. 公共施設や住居、工場・事業所等の緑化促進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の緑化（グリーンカーテンなど）の推進 ・生垣設置補助金の継続推進 ・自治会等の団体との協働による公園の維持・管理の推進
担当部署	管財課、都市計画課（建築課、環境政策課、道路管理課）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎（会計課脇・窓口サービス課後方）にて、ゴーヤを用いたのグリーンカーテンを実施した ・自治会と清掃協力団体の協定を結び、公園の維持・管理を行った
評価	△

具体的施策	c. 街路樹の整備
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の維持・管理の推進 ・四街道駅前大日線の松並木通り等の維持管理
担当部署	道路管理課（管財課）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の維持・管理を行った（要望のあったものを随時剪定した） ・松並木通り等の枯れ枝及び折れ枝の剪定を行った
評価	○

具体的施策	d. 保存樹木、保存樹林指定制度の活用
施策の内容	・古木や巨木等を保存樹木に指定し、樹木等の保存管理への補助の実施
担当部署	産業振興課（社会教育課）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保存樹木、樹林を適切に管理した ・市指定文化財管理者に管理謝礼金を支出した
評価	○

具体的施策	e. 親水性と田園環境に配慮した水辺空間の創出
施策の内容	・河川、水路等の整備に伴う生態系に配慮した市民に親しまれる良好な水辺空間の創出
担当部署	環境政策課（下水道課）
進捗状況	・手繰川の清掃を実施した
評価	△

具体的施策	f. 違法駐輪対策の推進
施策の内容	・ 違法駐輪の発生防止についての市民への啓発 ・ 放置自転車の撤去の推進
担当部署	道路管理課
進捗状況	・ 違法駐輪の発生防止のため、クリーンキャンペーンを実施した ・ 放置自転車撤去の推進のため、指導及びパトロールを実施した
評価	○

具体的施策	g. 良好な住宅・住環境の整備
施策の内容	・ 違反建築物に対するパトロールの強化、市営住宅の改修工事の促進 ・ 増加傾向にある空き家の実態調査の実施及び空き家の効果的な対策の検討
担当部署	建築課（自治振興課）
進捗状況	・ 違反建築物に対するパトロールを実施した（12回） ・ 市営住宅の施設維持のため、改修工事を実施した ・ 市内全域を対象に空家等実態調査を実施した ・ 空き家対策の関係3団体との協定に基づき、空家等相談業務を実施した
評価	○

【1 - ③ 暮らしやすさの向上】

具体的施策	a. 道路網の整備と安全対策の推進
施策の内容	・ 一般市道（生活道路）の整備・充実 ・ 都市計画道路等の整備 ・ 道路の不法占用、沿道樹木の張り出しによる交通障害物対策の実施 ・ 交通環境を向上させるため、歩道のバリアフリー化や交通安全施設の整備の推進
担当部署	道路建設課、道路管理課
進捗状況	・ 舗装が傷んでいた箇所について、舗裝修繕工事を実施した ・ 3.3.1号山梨臼井線整備事業について、整備中である ・ 千代田地区の歩道の切り下げを行い、バリアフリー化を図った ・ 市内で要望のある場所に、交通安全施設等の設置を行った
評価	△

具体的施策	b. 排水対策の推進
施策の内容	・ 道路冠水や住宅浸水を改善するための雨水管、雨水貯留施設、道路側溝の新設と改修工事の実施
担当部署	道路管理課（下水道課）
進捗状況	・ 地下貯留施設等の設置工事を行った ・ 市内要望箇所に道路側溝等を整備した
評価	○

第2節 循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち

大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済システムやライフスタイルを見直し、持続可能な循環型社会の構築に向けた取組は、現在避けることのできない課題となっています。また、本市には最終処分場がなく、焼却灰等のごみの焼却残渣の処分は、他の自治体に依存している状況です。

そこで、施策の基本方針に基づき、市民・市民団体、事業者、市が協調して廃棄物の減量化及び再資源化に取り組み、『循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち』を目指します。

【2 - ① 3Rの推進】

具体的施策	a. 不用品の交換情報の提供
施策の内容	・市役所での掲示や市政だよりによる不用品の交換情報の提供
担当部署	産業振興課
進捗状況	・譲りたい、若しくは譲ってほしい物の登録、紹介、広報掲載を行った（登録件数156件、成立件数65件）
評価	○

具体的施策	b. エコショップの認定
施策の内容	・「エコショップよつかいどう」認定事業の継続・推進
担当部署	廃棄物対策課
進捗状況	・市政だよりやホームページによりエコショップの周知を図った
評価	○

具体的施策	c. 資源物回収活動の推進
施策の内容	・雑紙、植栽剪定枝、廃食油、小型電子機器のリサイクルの推進 ・自治会や子ども会など資源物回収団体への支援 ・家具類等を引き取り、補修、販売を行うリユースの拠点施設整備の検討
担当部署	廃棄物対策課（クリーンセンター）
進捗状況	・雑誌等の資源物を集積所等から収集、保管をしたのち、売払いを行った ・再資源化物集団回収事業補助金を交付した（自治会や子ども会など72登録団体）
評価	△

具体的施策	d. リサイクル処理の最適化とごみの分別と収集の検討
施策の内容	・リサイクル処理の最適化の検討 ・新たな分別方法による収集の検討
担当部署	廃棄物対策課（クリーンセンター）
進捗状況	・小型家電の拠点回収、集積所回収した不燃ごみから小型家電を選別するピックアップ回収をしたのち、売払いを行った ・資源有価物の市況の変化に対応できるよう、売払い方法について検討したが、現状維持である
評価	○

具体的施策	e. ごみの出し方やリサイクルに関するルールの徹底
施策の内容	・市政だより掲載の「クルちゃんのごみの話」による啓発の継続 ・自治会との協働によるごみの出し方のルール遵守の徹底 ・講習会や出前講座によるリサイクルに関する市民への啓発
担当部署	廃棄物対策課（クリーンセンター）
進捗状況	・「クルちゃんのごみの話」をとおして3Rの広報を行った ・ごみの分別ガイドブック及び家庭ごみの出し方一覧を市民配布した ・市政だよりによりごみの出し方の周知を図った
評価	△

具体的施策	f. ごみに関する意識の高揚
施策の内容	・3Rの推進を目的とした資源物集団回収の実施を通じた市民意識の向上促進
担当部署	廃棄物対策課
進捗状況	・市政だよりで集団回収量を広報した ・ホームページで登録団体（地区、品目）及び新規登録団体募集の広報を行った
評価	○

【2 - ② ごみの適正処理の推進】

具体的施策	a. 焼却ごみ量の削減
施策の内容	・古紙類（新聞、雑紙、ダンボール、雑誌、紙パック）・繊維類の分別収集の徹底等、市民への可燃ごみ削減方法の啓発 ・紙類の分別を促進するなど事業系ごみの減量化の推進
担当部署	廃棄物対策課（クリーンセンター）
進捗状況	・市政だより及びホームページ掲載による市民への可燃ごみ削減方法の啓発を行った ・事業系ごみ搬入業者に対し、ごみの分別を随時指導した
評価	○

具体的施策	b. ごみ処理施設の維持管理
施策の内容	・クリーンセンターの定期的な点検・整備及び老朽化した設備の修繕等の実施
担当部署	クリーンセンター
進捗状況	・ごみ焼却施設において保守点検及び整備修繕を行い、粗大ごみ処理施設において保守点検を実施した
評価	○

具体的施策	c. 不法投棄の防止と不法投棄された廃棄物の適切な処理
施策の内容	・不法投棄防止看板の設置と広報の継続 ・環境保全指導員や不法投棄等監視員による市内パトロールの実施 ・不法投棄された廃棄物の速やかな撤去の実施 ・一般ごみの集積所での不法投棄廃棄物へのラベルによる警告の実施
担当部署	廃棄物対策課、環境政策課、クリーンセンター
進捗状況	・不法投棄禁止看板を設置した ・市政だよりやホームページなどで不法投棄禁止の周知を図った ・環境保全指導員による投棄物等のパトロールを実施した ・不法投棄された廃棄物の撤去を迅速に行った ・収集不適ごみ排出者に対しラベル貼付による警告を実施した後、回収・処理を行った
評価	○

第3節 次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち

地球温暖化問題に代表される地球規模での環境問題に対応していくことは、私たちの世代の責務となっています。また、東日本大震災によって引き起こされた福島第一原子力発電所の事故は、あらためて我々のエネルギー消費に対する意識を見つめなおす契機となりました。

そこで、施策の基本方針に基づき、市民・市民団体、事業者、市が一体となって、地球温暖化対策に継続して取り組んでいくとともに、再生可能エネルギーの導入など省エネルギーに取り組み、『次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち』を目指します。

【3 - ① 省エネルギーの推進】

具体的施策	a. 省エネルギー建築の推進
施策の内容	・断熱材使用やLED等の省エネルギー設備を導入した省エネルギー型建築の普及促進
担当部署	環境政策課（建築課、管財課、自治振興課、教育総務課）
進捗状況	・省エネ設備等の普及促進のため、補助金交付の広報を実施した ・庁舎照明器具の更新の際は、環境配慮型やLED式の器具を導入した ・市内の防犯灯のLED化を実施した（73基）
評価	○

具体的施策	b. 省エネルギー設備の導入促進
施策の内容	・公共施設への太陽光発電の導入の推進 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金等の継続 ・小規模雨水利用設備設置費等補助金の継続
担当部署	環境政策課（建築課、教育総務課、管財課）
進捗状況	・住宅用省エネルギー設備等導入促進事業補助金の交付を行った（53件） ・小規模雨水利用設備設置費等補助金の交付を行った（2件）
評価	△

具体的施策	c. 省エネルギー行動の普及
施策の内容	・ 節電行動の普及啓発 ・ 公共施設における省エネルギー行動の実施
担当部署	環境政策課
進捗状況	・ 庁舎内の節電及び省エネ行動に取り組むよう、庁内に周知を図った
評価	○

【3 - ② 温室効果ガス排出量の削減】

具体的施策	a. 環境家計簿の普及
施策の内容	・ 環境家計簿による省エネ行動の普及
担当部署	環境政策課
進捗状況	・ 環境家計簿をホームページで公表し、省エネ行動の啓発を図った
評価	○

具体的施策	b. 身近な再生可能エネルギー資源の有効利用
施策の内容	・ 太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入可能性の検討 ・ 学校給食等から回収した廃食油を利用したバイオ燃料の精製の検討
担当部署	環境政策課、障害者支援課
進捗状況	・ 新たな再生可能エネルギーの導入の検討はできていない ・ 廃食油を利用したバイオ燃料の精製については、実施主体であった就労支援センター「サンワーク」の閉所に伴い、実施しない
評価	×

具体的施策	c. 上手な自動車利用の促進
施策の内容	・ マイカーの利用抑制の呼びかけ ・ 市の公用車購入要領に基づく低燃費車等のエコカー導入
担当部署	環境政策課、管財課
進捗状況	・ 通勤に公共交通機関を積極的に利用するよう、庁内に周知を図った
評価	△

具体的施策	d. 公共交通の利用促進と充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス、鉄道等公共交通の利用促進に向けた情報提供の充実 ・ 関係機関との協議による市内バス路線の再編成等利便性向上への取組の推進
担当部署	政策推進課
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内バス路線の案内パンフレットやチラシを作成し、公共交通の利用促進に向け情報提供を行った ・ 鉄道・バス事業者への要望等を行い、ダイヤ改正がおこなわれる等、利便性向上に向けて取り組んだ
評価	○

第4節 思いやりの心が育まれる自然豊かなまち

谷津田、里山など市内に残る自然環境は市民の安らぎの空間としての役割を持つほか、生態系をになう重要な要素です。わたしたち人間も生態系を構成する一部としてこれらから多くの恩恵を受けていることから、自然環境を保全していくことはとても重要です。

そこで、施策の基本方針に基づき、市民・市民団体、事業者、市が協働して、森林、谷津田や里山の保全、農業の活性化に取り組み、生物多様性の保全に向けた『思いやりの心が育まれる自然豊かなまち』を目指します。

【4 - ① 自然とのふれあいの推進】

具体的施策	a. 自然とふれあう機会の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「花と緑の基金」をはじめとする緑化推進体制の強化による一般家庭や公園等の身近なみどりの整備の推進 ・NPO等との連携による里山、谷津田、社寺林、屋敷林、公園など市内の自然を利用した自然観察会等市民が自然にふれあえる機会づくりの推進
担当部署	環境政策課、都市計画課（社会教育課、政策推進課※）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・たろやま会との協働によりたろやまの郷で稲作体験や春の自然観察会を実施した ・都市緑化月間（10月）に合わせて、秋も自然観察会を予定していたが、雨天のため中止となった ・コラボ四街道の採択団体である「四街道自然同好会」をはじめとした市民団体が、市民が自然とふれあえる事業を展開した ・文化財ボランティアガイドの会との協働事業による「文化財散歩」（物井地区・もねの里地区）を実施した
備考	※政策推進課における当該施策については、所管が変更となったため、シティセールス推進課が進捗状況報告を行っている
評価	○

具体的施策	b. 環境観察モデル地区の活用
施策の内容	・観察モデル地区を指定し、緑地や里山、湧水等の市民の学習の場としての活用
担当部署	環境政策課（都市計画課、都市整備課）
進捗状況	・ホタルの自然観察地として、土地の借上げを行った
評価	△

具体的施策	c. 農林業とのふれあいの促進
施策の内容	・ 市民農園の利用促進 ・ 市民農林業大学を通じて農林業とのふれあいの場の提供
担当部署	産業振興課
進捗状況	・ 市政だよりや市ホームページで市民農園の利用者を募集した (利用件数194件)
評価	△

【4 - ② 生物多様性の保全】

具体的施策	a. 森林・里山・農地の保全
施策の内容	・ 市内に残る森林、里山、農地所有者との調整や支援の検討 ・ 水源の保全、不法投棄や耕作放棄地への有効な対策の検討 ・ 市民との協働による栗山地区での里山の保全、自然景観の保持、自然と触れ合う憩いの場の創出などの総合的・一体的整備の実施 ・ 土砂等の埋立て等による土壌汚染を防止するための監視パトロールの実施
担当部署	産業振興課、都市計画課、環境政策課
進捗状況	・ たろやま会との協働によりたろやまの郷で稲作体験や春の自然観察会を実施した ・ 職員及び環境保全指導員による土砂等の埋立て等の監視パトロールを実施した
評価	△

具体的施策	b. 水とみどりのネットワーク化
施策の内容	・ 森林、谷津田、里山、水辺と公園、街路樹等をつなぐ水とみどりのネットワークの構築
担当部署	都市計画課（環境政策課）
進捗状況	・ 水とみどりのネットワークの構築はできていない
評価	×

具体的施策	c. 自然環境調査の実施
施策の内容	・ 市全域の動植物を対象とした自然環境調査の実施
担当部署	環境政策課
進捗状況	・ 自然環境調査は実施できていない
評価	×

具体的施策	d. 森林・農地所有者への支援
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興地域整備計画に基づく総合的な農業の振興 ・ 耕作放棄地の再生利用の推進 ・ 環境にやさしい農業経営者（エコファーマー）への支援 ・ 認定農業者への育成支援の促進 ・ ファーマーズマーケットや朝市の開催、市内で採れた地場産の食材を利用した学校給食やレストラン等多様な販売先の開拓による地産地消の促進 ・ 四街道市森林整備計画に基づく、森林所有者による下草刈りなど森林整備への支援の実施
担当部署	産業振興課（農業委員会事務局、指導課）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興地域整備計画の全体見直しが完了した ・ 環境保全型農業直接支払交付金により、有機農業の支援を実施した（2件） ・ 認定農業者の新規認定及び再認定を実施した（新規認定0人、再認定5人） ・ 朝市の開催（ほぼ毎週日曜日）と都市近郊農業のPRのため認定農業者会による市民親子農業収穫体験講座（四街道市産農産物の収穫体験等）を実施した（8日間、22組、延べ334人参加） ・ 学校給食において、市内で採れた地場産の食材を活用し、地産地消の促進に努めた ・ 森林整備事業として、植林、下刈等費用の一部を助成した（2人）
評価	△

具体的施策	e. 外来生物対策
施策の内容	・ 外来生物に対する情報提供
担当部署	環境政策課
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ カミツキガメ等に関する注意喚起などホームページ等で広報を行った ・ カミツキガメの捕獲を行った（4件）
評価	○

5 みんなで環境づくりに取り組むまち

環境保全への取組は、継続的な環境教育・環境学習が欠かせないものであり、教育現場、地域現場などすべての主体が一体となり行動、学習することが必要です。加えて、東日本大震災後は、地域のきずなの重要性があらためて見直され、地域活動に参加する機運が高まっています。

そこで、施策の基本方針に基づき、市民・市民団体、NPO、地域コミュニティなど地域社会を構成するさまざまな主体との連携・協働を一層強固なものとし、環境教育・環境学習の推進に取り組み、『みんなで環境づくりに取り組むまち』を目指します。

【5 - ① 環境情報の提供】

具体的施策	a. 環境情報の定期的発信
施策の内容	・ 環境白書や市政だより等による最新の環境情報や環境基本計画に基づく施策の実施状況についての情報公開
担当部署	環境政策課
進捗状況	・ 市で行ったダイオキシン類濃度測定調査等の環境情報を、ホームページで公表した
評価	△

具体的施策	b. 多様なツールによる情報発信
施策の内容	・ 市政だよりやホームページによる環境情報発信の充実 ・ ソーシャルネットワーキングサービス等を利用した新たな情報発信ツールの活用
担当部署	環境政策課
進捗状況	・ ホームページで発信している環境情報について、コンテンツの充実を図った
評価	△

【5 - ② 環境保全活動の推進】

具体的施策	a. 市民やNPOの自発的な活動のサポート
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動への市民参加機会の充実を図るための「市民提案手続き」の利用促進 ・「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」による市民自らが企画し実施する環境保全活動の支援
担当部署	環境政策課（政策推進課※）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回市民提案手続きのお知らせを市政だよりとホームページで行った ・コラボ四街道の採択団体である「四街道自然同好会」をはじめとした市民団体が、市民が自然とふれあえる事業を展開した
備考	※政策推進課における当該施策については、所管が変更となったため、シティセールス推進課が進捗状況報告を行っている
評価	○

具体的施策	b. 広域的連携の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛沼流域環境・体験フェアや手繰川河川清掃活動など周辺自治体や千葉県及び市民と協働した環境保全活動の実施
担当部署	環境政策課
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛沼流域環境・体験フェアや手繰川河川清掃活動などを通じて周辺自治体や千葉県及び市民と協働して事業を行った
評価	○

具体的施策	c. 美しいまちづくりの推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化運動や地域清掃活動、ポイ捨て防止及びごみゼロ運動の推進
担当部署	環境政策課、クリーンセンター
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化表彰、ポイ捨て防止キャンペーンを実施した ・ごみゼロ運動を実施した（春は7,416人が参加、秋は中止）
評価	○

具体的施策	d. 交流の場としての機能の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等公共施設を活用した市民の活動の場の提供
担当部署	環境政策課（社会教育課）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内3公民館及び和良比小学校、四街道中学校で特別教室を市民に開放し、活動の場を提供した
評価	○

具体的施策	e. 交流のための組織の充実
施策の内容	・ 市民・市民団体、事業者、市の交流のための組織の拡充と協働の促進
担当部署	環境政策課
進捗状況	・ 組織の拡充や協働の促進はできていない
評価	×

【5 - ③ 環境教育・環境学習の推進】

具体的施策	a. 環境教育・環境学習プログラムづくり
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民団体やNPO等と連携した環境教育・学習体制の確立 ・ 環境家計簿を利用した省エネルギーに関する教育・学習の実施 ・ 学校教育や生涯学習などに活用できる環境学習プログラムの作成 ・ 「学校支援地域本部事業」の中で学校支援コーディネーターや地域コーディネーターの配置による環境教育の充実や市内小中学校を開放した社会教育の場の提供
担当部署	環境政策課（指導課）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民団体の環境に係る定例会に出席し、連携を図った ・ 市のホームページで環境家計簿を公開している ・ 市内小中学校では、学校の実態に応じて、総合的な学習、理科等において、市民団体や地域ボランティアと連携した環境保全等に関する学習活動を行った ・ 「学校支援地域本部事業」において、地域ボランティアによる学習支援が充実するよう、指導、助言を行った
評価	△

具体的施策	b. 地域文化の保存・継承と郷土学習の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校との連携による地域文化の保存活動の推進 ・ 学校における郷土学習の推進（副読本「わたしたちの四街道」を利用した学習、歴史民俗資料室を利用した学習等）や市民向け講座での郷土資料の普及
担当部署	社会教育課、指導課
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内小学生の社会科学習、総合的な学習の一環として、歴史民俗資料室見学、八木原貝塚見学等を実施した ・ 実情に応じて地域のお祭りやお囃子等について学ぶ機会をもつよう、各学校に指導・助言を行った ・ 歴史民俗資料室の見学に加え、民俗資料の出前授業、市内の祭りや文化財に関する出前授業等を実施した ・ 児童の本市伝統文化や地域遺産への理解が深まるよう、副読本や歴史民俗資料室の効果的な活用について、各小学校に指導、助言を行った
評価	○

第3章

進捗状況の評価について

1 指標の進捗状況と評価

指標の進捗状況を点検し、達成状況について評価を行いました。

評価指標	基準	現状	数値目標	
	25年度始	29年度末	30年度末	35年度末
高度処理型合併処理浄化槽補助件数（累計）	124件	158件	240件	340件
都市公園の市民一人当たりの面積（累計）	7.2㎡/人	7.3㎡/人	8.9㎡/人	9.0㎡/人
放置自転車等撤去台数（単年度）	1,132台	725台	1,000台	1,000台
バリアフリー化した歩道整備箇所数（累計）	127箇所	174箇所	207箇所	287箇所
下水道整備率（累計）	83.5%	88.6%	90.8%	90.8%
1人1日当たりごみ排出量（単年度）	875 (g/人・日)	798 (g/人・日)	809 (g/人・日)	809 (g/人・日)
リサイクル率（単年度）	24.9%	22.3%	36.6%	36.6%
住宅用省エネルギー設備等設置件数（累計）	169件	827件	900件	1,525件
小規模雨水利用設備設置件数（累計）	44件	112件	195件	320件
市内循環バス「ヨッピー」の利用者数（単年度）	81,988人	86,262人	82,000人	82,000人
認定農業者の認定数（累計）	21件	36件	25件	30件
市民農園の利用率（累計）	81%	74%	85%	90%
環境家計簿取組報告世帯数（累計）	未実施	2世帯	150世帯	300世帯
ごみゼロ運動の参加人数（単年度）※1回あたり	6,000人	7,416人	6,350人	6,700人

評価指標	高度処理型合併処理浄化槽補助件数（累計）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	124件		
	参考：平成25年度末	140件		
	中間目標：平成30年度末	240件		
	目標：平成35年度末	340件		
年度末実績 （カッコ内 は、単年度の 実績）	26年度	145件(5件)	31年度	-
	27年度	148件(3件)	32年度	-
	28年度	154件(6件)	33年度	-
	29年度	158件(4件)	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(件)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
	丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。			
評価	未達成			
備考	要綱改正（26年4月1日施行）により、補助要件等が変更となりました。			

評価指標	都市公園の市民一人当たりの面積（累計）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	7.2㎡/人		
	中間目標：平成30年度末	8.9㎡/人		
	目標：平成35年度末	9.0㎡/人		
年度末実績	26年度	7.2㎡/人	31年度	-
	27年度	7.2㎡/人	32年度	-
	28年度	7.2㎡/人	33年度	-
	29年度	7.3㎡/人	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(㎡/人)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
	<p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
評価	未達成			
備考				

評価指標	放置自転車等撤去台数（単年度）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	1,132台		
	中間目標：平成30年度末	1,000台		
	目標：平成35年度末	1,000台		
年度末実績	26年度	1,035台	31年度	-
	27年度	757台	32年度	-
	28年度	732台	33年度	-
	29年度	725台	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(台)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
	<p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
評価	達成			
備考				

評価指標	バリアフリー化した歩道整備箇所数（累計）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	127箇所		
	中間目標：平成30年度末	207箇所		
	目標：平成35年度末	287箇所		
年度末実績	26年度	157箇所	31年度	-
	27年度	166箇所	32年度	-
	28年度	170箇所	33年度	-
	29年度	174箇所	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(箇所)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
	<p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
評価	未達成			
備考				

評価指標	下水道整備率（累計）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	83.5%		
	中間目標：平成30年度末	90.8%		
	目標：平成35年度末	90.8%		
年度末実績	26年度	85.5%	31年度	-
	27年度	86.3%	32年度	-
	28年度	88.6%	33年度	-
	29年度	88.6%	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(%)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
評価	未達成			
備考				

評価指標	1人1日当たりごみ排出量（単年度）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	875(g/人・日)		
	中間目標：平成30年度末	809(g/人・日)		
	目標：平成35年度末	809(g/人・日)		
年度末実績	26年度	842(g/人・日)	31年度	-
	27年度	829(g/人・日)	32年度	-
	28年度	825(g/人・日)	33年度	-
	29年度	798(g/人・日)	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	(g/人・日)			
	<p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
評価	達成			
備考				

評価指標	リサイクル率（単年度）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	24.9%		
	参考：平成25年度末	24.7%		
	中間目標：平成30年度末	36.6%		
	目標：平成35年度末	36.6%		
年度末実績	26年度	24.1%	31年度	-
	27年度	23.4%	32年度	-
	28年度	22.6%	33年度	-
	29年度	22.3%	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(%)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
	丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。			
評価	未達成			
備考				

評価指標	住宅用省エネルギー設備等設置件数（累計）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	169件		
	参考：平成25年度末	290件(121件)		
	中間目標：平成30年度末	900件		
	目標：平成35年度末	1,525件		
年度末実績 (カッコ内 は、単年度の 実績)	26年度	463件(173件)	31年度	-
	27年度	608件(145件)	32年度	-
	28年度	774件(166件)	33年度	-
	29年度	827件(53件)	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(件)</p> <p>(年度)</p>			
	丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。			
評価	達成			
備考	①住宅用太陽光発電システム、②家庭用燃料電池システム、③定置用リチウムイオン蓄電システムの補助金交付件数です。29年度は、①11件、②20件、③22件でした。			

評価指標	小規模雨水利用設備設置件数（累計）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	44件		
	参考：平成25年度末	72件(28件)		
	中間目標：平成30年度末	195件		
	目標：平成35年度末	320件		
年度末実績 (カッコ内 は、単年度の 実績)	26年度	84件(12件)	31年度	-
	27年度	99件(15件)	32年度	-
	28年度	110件(11件)	33年度	-
	29年度	112件(2件)	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(件)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
	丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。			
評価	未達成			
備考				

評価指標	市内循環バス「ヨッピー」の利用者数（単年度）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	81,988人		
	中間目標：平成30年度末	82,000人		
	目標：平成35年度末	82,000人		
年度末実績	26年度	74,356人	31年度	-
	27年度	79,260人	32年度	-
	28年度	81,515人	33年度	-
	29年度	86,262人	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(千人)</p> <p>丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。</p>			
	丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。			
評価	達成			
備考				

評価指標	認定農業者の認定数（累計）																											
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	21件																										
	中間目標：平成30年度末	25件																										
	目標：平成35年度末	30件																										
年度末実績	26年度	28件	31年度	-																								
	27年度	34件	32年度	-																								
	28年度	36件	33年度	-																								
	29年度	36件	34年度	-																								
	30年度	-	35年度	-																								
進捗グラフ	<p>(件)</p> <table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績 (件)</th> <th>目標 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>28</td> <td>22.5</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>34</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>36</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>36</td> <td>26.5</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>-</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>-</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(年度)</p>				年度	実績 (件)	目標 (件)	25	21	21	26	28	22.5	27	34	24	28	36	25	29	36	26.5	30	-	25	35	-	30
	年度	実績 (件)	目標 (件)																									
25	21	21																										
26	28	22.5																										
27	34	24																										
28	36	25																										
29	36	26.5																										
30	-	25																										
35	-	30																										
丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																												
評価	達成																											
備考																												

評価指標	市民農園の利用率（累計）																										
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	81%																									
	中間目標：平成30年度末	85%																									
	目標：平成35年度末	90%																									
年度末実績	26年度	71%	31年度	-																							
	27年度	75%	32年度	-																							
	28年度	59%	33年度	-																							
	29年度	74%	34年度	-																							
	30年度	-	35年度	-																							
進捗グラフ	<p>(%)</p> <table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績 (%)</th> <th>目標 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準 25</td> <td>-</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>71</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>75</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>59</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>74</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>-</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>-</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>(年度)</p>			年度	実績 (%)	目標 (%)	基準 25	-	81	26	71	-	27	75	-	28	59	-	29	74	-	30	-	85	35	-	90
	年度	実績 (%)	目標 (%)																								
基準 25	-	81																									
26	71	-																									
27	75	-																									
28	59	-																									
29	74	-																									
30	-	85																									
35	-	90																									
丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																											
評価	未達成																										
備考																											

評価指標	環境家計簿取組報告世帯数（累計）			
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	未実施		
	中間目標：平成30年度末	150世帯		
	目標：平成35年度末	300世帯		
年度末実績 （カッコ内 は、単年度の 実績）	26年度	未実施	31年度	-
	27年度	未実施	32年度	-
	28年度	1世帯(1世帯)	33年度	-
	29年度	2世帯(1世帯)	34年度	-
	30年度	-	35年度	-
進捗グラフ	<p>(世帯)</p> <p>(年度)</p>			
	丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。			
評価	未達成			
備考				

評価指標	ごみゼロ運動の参加人数（単年度）																										
基準及び目標	基準：平成25年4月1日	6,000人																									
	中間目標：平成30年度末	6,350人																									
	目標：平成35年度末	6,700人																									
年度末実績	26年度	6,725人	31年度	-																							
	27年度	6,425人	32年度	-																							
	28年度	6,010人	33年度	-																							
	29年度	7,416人	34年度	-																							
	30年度	-	35年度	-																							
進捗グラフ	<p>(人)</p> <table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数 (人)</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>基準 (2013)</td><td>6,000</td><td>目標値</td></tr> <tr><td>26年度</td><td>6,725</td><td>実績</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>6,425</td><td>実績</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>6,010</td><td>実績</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>7,416</td><td>実績</td></tr> <tr><td>30年度</td><td>6,350</td><td>目標値</td></tr> <tr><td>35年度</td><td>6,700</td><td>目標値</td></tr> </tbody> </table> <p>(年度)</p>			年度	参加人数 (人)	種類	基準 (2013)	6,000	目標値	26年度	6,725	実績	27年度	6,425	実績	28年度	6,010	実績	29年度	7,416	実績	30年度	6,350	目標値	35年度	6,700	目標値
	年度	参加人数 (人)	種類																								
基準 (2013)	6,000	目標値																									
26年度	6,725	実績																									
27年度	6,425	実績																									
28年度	6,010	実績																									
29年度	7,416	実績																									
30年度	6,350	目標値																									
35年度	6,700	目標値																									
丸印は、目標値を表しています。また、途中経過の目安として、点線で目標値間を接続しています。																											
評価	達成																										
備考	春と秋のごみゼロ運動参加者数の平均人数で算出しています。																										

2 まとめ

進捗状況調査の結果から、具体的施策の実施状況については、全 47 項目のうち、28 項目が実施、15 項目が一部実施と評価され、殆どの施策で概ね取り組みがなされていることが確認できました。

また一方で、4 項目が未実施の状況であると確認できました。これらの未実施と評価された4つの施策は、長期目標3. 低炭素社会分野「身近な再生可能エネルギー資源の有効利用」が1項目、長期目標4. 自然分野の「②生物多様性の保全」が2項目、長期目標5. 環境教育・行動分野の「②環境保全活動の推進」が1項目という内訳となっており、特に自然分野及び環境教育分野の施策の進捗に遅れがみられることがわかりました。

指標として数値目標が定められている項目については、全14項目のうち、6項目が当該年度における目標値を達成し、順調に進捗していましたが、8項目が未達成でした。

具体的施策の評価及び評価指標の達成状況について、以下の一覧にまとめました。

1. 具体的施策の進捗状況評価一覧

長期目標1. (安全安心・生活環境分野)

健やかに安心して暮らせるまち

施策の基本方針	具体的施策	評価
①生活環境の保全 対策	大気汚染の防止	○
	水質汚濁の防止	△
	航空機騒音への対応	○
	自動車利用の抑制	○
	身近な生活環境問題への対策	○
②美しく快適なま ちづくりの推進	公園・緑地の整備	△
	公共施設や住居、工場・事業所等の緑化促進	△
	街路樹の整備	○
	保存樹木、保存樹林指定制度の活用	○
	親水性と田園環境に配慮した水辺空間の創出	△
	違法駐輪対策の推進	○
	良好な住宅・住環境の整備	○
③暮らしやすさの 向上	道路網の整備と安全対策の推進	△
	排水対策の推進	○

長期目標2. (循環型社会分野)

循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを实践するまち

施策の基本方針	具体的施策	評価
①3Rの推進	不用品の交換情報の提供	○
	エコショップの認定	○
	資源物回収活動の推進	△
	リサイクル処理の最適化とごみの分別と収集の検討	○
	ごみの出し方やリサイクルに関するルールの徹底	△
	ごみに関する意識の高揚	○
②ごみの適正処理の推進	焼却ごみ量の削減	○
	ごみ処理施設の維持管理	○
	不法投棄の防止と不法投棄された廃棄物の適切な処理	○

長期目標3. (低炭素社会分野)

次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち

施策の基本方針	具体的施策	評価
①省エネルギーの推進	省エネルギー建築の推進	○
	省エネルギー設備の導入促進	△
	省エネルギー行動の普及	○
②温室効果ガス排出量の削減	環境家計簿の普及	○
	身近な再生可能エネルギー資源の有効利用	×
	上手な自動車利用の促進	△
	公共交通の利用促進と充実	○

長期目標4. (自然分野)

思いやりの心が育まれる自然豊かなまち

施策の基本方針	具体的施策	評価
①自然とのふれあいの推進	自然とふれあう機会の充実	○
	環境観察モデル地区の活用	△
	農林業とのふれあいの促進	△
②生物多様性の保全	森林・里山・農地の保全	△
	水とみどりのネットワーク化	×
	自然環境調査の実施	×
	森林・農地所有者への支援	△
	外来生物対策	○

長期目標5. (環境教育・行動分野)

みんなで環境づくりに取り組むまち

施策の基本方針	具体的施策	評価
①環境情報の提供	環境情報の定期的発信	△
	多様なツールによる情報発信	△
②環境保全活動の推進	市民やNPOの自発的な活動のサポート	○
	広域的連携の推進	○
	美しいまちづくりの推進	○
	交流の場としての機能の充実	○
	交流のための組織の充実	×
③環境教育・環境学習の推進	環境教育・環境学習プログラムづくり	△
	地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○

2. 評価指標の達成状況一覧

評価指標	達成状況
高度処理型合併処理浄化槽補助件数(累計)	未達成
都市公園の市民一人当たりの面積(累計)	未達成
放置自転車等撤去台数(単年度)	達成
バリアフリー化した歩道整備箇所数(累計)	未達成
下水道整備率(累計)	未達成
1人1日当たりごみ排出量(単年度)	達成
リサイクル率(単年度)	未達成
住宅用省エネルギー設備等設置件数(累計)	達成
小規模雨水利用設備設置件数(累計)	未達成
市内循環バス「ヨッピー」の利用者数(単年度)	達成
認定農業者の認定数(累計)	達成
市民農園の利用率(累計)	未達成
環境家計簿取組報告世帯数(累計)	未達成
ごみゼロ運動の参加人数(単年度)	達成

資料

1. 第2次四街道市環境基本計画
2. 第2次四街道市環境基本計画概要版